

# 「つないでシート」 — 中学校入門期指導計画 — 作成のポイント

	小学校				春休み	中学校 (Unit 1 に入る前)			
	第1時	第2時	第3時	第4時		第1時	第2時	第3・4・5時	第6・7時
単元目標									
本時の目標									
本時の展開									
評価規準									
評価の観点									
主な語彙、表現									
小中連携の視点 で指導上大切に すること									
小中連携を考える キーワード	コミュニケー ションを図る 表しさ	音声による 指導	不安を取り 除く	期待		ともに学ぶ (ペア・グループ等 学びの基盤づくり)		発音と綴りの関 係の指導	
話し合いの中で気 付いたこと									

## ポイント① 小学校での学習を踏まえること

### ● 外国語活動で身に付いた力について評価をする

中学校での授業は、外国語活動で身に付いた力を肯定的に評価し、学習の有用感を感じさせることからスタートさせましょう。クラスルーム・イングリッシュを理解して行動したり、理解して応答したりする場面を意図的に設定し、「できる!」「よかった!」「がんばれそう!」という気持ちを芽生えさせるようなスタートもよい例です。教員の姿勢として、頑張ったことを「適切にほめる!」ことが求められます。

課題設定は、不安感や抵抗感を期待に転化させるようなスモール・ステップの積み重ねにしましょう。



### ● 学習者に期待を持たせる

中学校での学習に対して緊張している学習者の心理に寄り添うことが大切です。キーワードは、「不安を取り除く」「抵抗感を減らす」「期待を持たせる」です。

小学校の段階で、すでに苦手意識を持っている児童があれば、その状況を個別に把握し、小学校での状況を踏まえて、入念に計画を立てることが大切です。

### ● 学ぶ意欲や主体的な学習の仕方を身に付けさせる

小学校段階で、英語ノート等を活用して学習し、外国語の音声に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育っています。

入門期では、外国語活動と外国語科との共通点や相違点について、学ぶ意義や見通しを持たせるようなガイダンスを行うことが効果的です。

「聞くこと・話すこと」から「読むこと・書くこと」への系統的な指導、とりわけ、発音と綴りの関係については、ていねいに指導する必要があります。さらに主体的な学習を進めるため、辞書の使用方法及びその活用の仕方等について、継続的に指導しましょう。